

県議会で一般質問



左のQRコードから一般質問の動画をご覧いただけます。

策定を地方公共団体に求めています。三重県の計画作成についてお伺いします。

地域連携部長

地域公共交通の維持確保、利便性の向上等の分析、基本的な方針、目標の設定などを盛り込んだ、地域公共交通計画を、令和五年度内に作成し地域の進展に繋げていきたいと思っています。

質問

地域公共交通は、地域づくりの基礎であり、提供する責任は自治体にあります。そもそも、収益の見込みない路線を民間事業に任せること自体無理があるように感じます。地域公共交通について、知事として今後どのように対応していくのか、お伺いします。

知事

公設民営を考えていかないといけない時代になっていきます。また、自家用有償旅客運送制度（地域で六十代・七十代の元気な人が、八十代・九十代の人を乗せて運ぶ制度）を三重県でも展開していく必要があると思っています。市町、交通事業者と連携しながら対応していきます。

道路整備の促進について

質問

には、国道二三号線と結ぶ計画もあり、周辺地域からは、津波や洪水時の避難経路として、早期完成が望まれています。現在の整備状況と今後の方向性についてお伺いします。

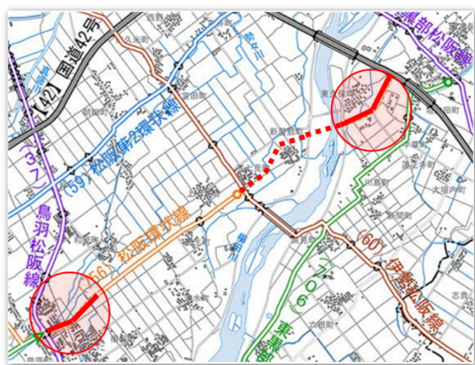
県土整備部長

国道三六八号線は、今年度より、約二倍の予算を確保して事業を加速してまいります。今後概ね十年で、完成させることを目標に事業を進めてまいります。

国道三六八号線は伊賀地域と松阪地域及び南勢地域を結び、この地域の交流・連帯を支援する上で重要な役割を担う路線です。このバイパス工事は、着工から三十二年になります。未だ開通の見通しがたっていません。



国道368号線バイパス



都市計画道路松阪環状線

また、都市計画道路松阪環状線は、事業着手から三十四年目を迎えています。将来的

意見

奈良県に繋がる国道一六六号線は、度々法面崩壊により通行止めが生じています。災害時に、町が孤立することの無いように、道路網の整備をお願いします。

地域公共交通政策について

質問

地域公共交通は、日々の生活に欠かせない交通機関です。しかし、人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し、赤字路線が拡大しています。制度上は路線バスの参入、撤退は事業者の自由ですが、路線バスの多くは社会的使命感のもと、可能な限り維持に努めているのが現状です。県として、事業者をどう支えていくのか、お伺いします。

地域連携部長

補助制度の要件緩和、また新型コロナウイルス感染症の影響による減収分への経営支援など、国に要望等を行ってまいります。また、バス事業者、関係市町と連携して利用促進に取り組んでまいります。

質問

令和二年十一月に施行されました、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正では、地域公共交通計画の